
ドリームキャッチャー

ツバサ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ドリームキャッチャー

【Zコード】

Z3421BA

【作者名】

ツバサ

【あらすじ】

私の夢はお医者さんになること。親友の奈美と共に一緒に夢を図指していた。だけど私の夢は突如消え去った。

親友を失い絶望する私の前に現れたのは自分を夢を捕まえる者、ドリームキャッチャーと名乗る謎の少年、レオン＝ドリーム＝サイト。

「君の望みはなんだい？」

レオンの問いに私は答える。私の夢は、親友を奪った奴の復讐だと。

僕の初オリジナル長編です。『ごたごた』の作品になるかもしれません

がよりしへお願こしまーす。

プロローグ（前書き）

僕の初長編作品です。いつも道理、誤字脱字多いと思いますが（いつもどうして……）よろしくお願いしますww

プロローグ

「あつ 愛奈おはよー」
私の名前、加藤 愛奈の名を呼ばれ後ろを振り返り私の名前を呼んだ人物へ言葉を返す。

「奈美おはよー」

私は佐藤 奈美に挨拶を返す。奈美と私は同じ大学の医学部に通う同級生だ。奈美とは中学校まで一緒に大親友だったが高校で別れたのだった。しかし大学がまたまた一緒にだったの再び親友になった。元々私の家系、加藤家は代々内科を営んでいた。中には名医となつた人もいるそうだ。私も小学生のころからお医者さんになりたがっていた。そして一浪したうえで大学に入ったのだ。だから同級生といつても年下が多かつたのでとてもうれしいサプライズだった。私たちは無駄話を叩きながら大学内へと入った。

プロローグ（後書き）

とりあえずプロローグという名の人物紹介でした。どういった作品になるかわ後日ツバサ小説紹介にもアップしたいとおもいます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3421ba/>

ドリームキャッチャー

2012年1月8日22時47分発行